

IX 申請書・添付書類の記入例

様式第五（第五十五条関係）

許 可
解体業 申請書
許可の更新

※許可番号	
※許可年月日	

令和〇年〇〇月〇〇日

福 島 市 長

(郵便番号) 960-8601

住 所 福島県福島市五老内町〇番〇号

氏 名 株式会社 福島市役所自動車工業

代表取締役 〇〇〇〇

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

押印省略
可能です。

使用済自動車の再資源化等に関する法律第61条第1項の規定により、必要な書類を添えて解体業の許可(許可の更新)を申請します。

事業所の名称及び所在地		
名 称	①株式会社 福島市役所自動車工業本社 ②株式会社 福島市役所自動車工業鎌田支店	
所在地	①〒960-8601 福島県福島市五老内町〇番〇号 電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇 ②〒960-0102 福島県福島市鎌田字××〇-〇 電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
事業の用に供する施設の概要	別紙、事業所の施設を明らかにする図面等のとおり	
他に解体業又は破砕業の許可(他の都道府県のものを含む。)を有している場合にあっては、その許可番号(申請中の場合にあっては、申請年月日)	都道府県・市名	許可番号(申請中の場合にあっては、申請年月日)
	宮城県	解体業 令和〇年〇月〇日 申請中
他に廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業の許可(他の都道府県のものを含む。)を有している場合にあっては、その許可番号(申請中の場合にあっては、申請年月日)	都道府県・市名	許可番号(申請中の場合にあっては、申請年月日)
	福島県	産業廃棄物収集運搬業 △△〇〇年〇月〇日 1007×××××××

解体業を行おうとする事業所以外の場所で使用済自動車又は解体自動車の積替え又は保管を行う場合には、当該場所の所在地、面積及び保管量の上限	株式会社 福島市役所自動車工業 使用済自動車保管場 所在地：福島市五老内町△番△号 面積：200㎡、 保管量上限：使用済自動車50台（300㎡）						
役員の名及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。法人である場合に記入すること。）							
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="177 555 630 658">(ふりがな) 氏名</th> <th data-bbox="630 555 863 658">役職名</th> <th data-bbox="863 555 1410 658">住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="177 658 630 981"> ふりがな ○○○○ ふりがな ○○○○ </td> <td data-bbox="630 658 863 981"> 代表取締役 (生年月日 ○年○月○日 生) 監査役 (生年月日 ○年○月○日 生) </td> <td data-bbox="863 658 1410 981"> 福島市五老内町○○○ (本籍：○○市○○) 東京都千代田区○○ (本籍：○○町○○) </td> </tr> </tbody> </table>	(ふりがな) 氏名	役職名	住所	ふりがな ○○○○ ふりがな ○○○○	代表取締役 (生年月日 ○年○月○日 生) 監査役 (生年月日 ○年○月○日 生)	福島市五老内町○○○ (本籍：○○市○○) 東京都千代田区○○ (本籍：○○町○○)	
(ふりがな) 氏名	役職名	住所					
ふりがな ○○○○ ふりがな ○○○○	代表取締役 (生年月日 ○年○月○日 生) 監査役 (生年月日 ○年○月○日 生)	福島市五老内町○○○ (本籍：○○市○○) 東京都千代田区○○ (本籍：○○町○○)					
令第5条に規定する使用人の氏名及び住所（当該使用人がある場合に記入すること。）							
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="177 1057 630 1164">(ふりがな) 氏名</th> <th data-bbox="630 1057 863 1164">役職名</th> <th data-bbox="863 1057 1410 1164">住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="177 1164 630 1326"> ふりがな ○○○○ </td> <td data-bbox="630 1164 863 1326"> 鎌田支店長 (生年月日 ○年○月○日 生) </td> <td data-bbox="863 1164 1410 1326"> 福島市○○○ (本籍：福島市○○○) </td> </tr> </tbody> </table>	(ふりがな) 氏名	役職名	住所	ふりがな ○○○○	鎌田支店長 (生年月日 ○年○月○日 生)	福島市○○○ (本籍：福島市○○○)	
(ふりがな) 氏名	役職名	住所					
ふりがな ○○○○	鎌田支店長 (生年月日 ○年○月○日 生)	福島市○○○ (本籍：福島市○○○)					
法定代理人の氏名及び住所（未成年者であり、かつ、その法定代理人が個人である場合に記入すること。）							
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="177 1402 630 1509">(ふりがな) 氏名</th> <th data-bbox="630 1402 863 1509">役職名</th> <th data-bbox="863 1402 1410 1509">住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="177 1509 630 1594"> なし </td> <td data-bbox="630 1509 863 1594"></td> <td data-bbox="863 1509 1410 1594"></td> </tr> </tbody> </table>	(ふりがな) 氏名	役職名	住所	なし			
(ふりがな) 氏名	役職名	住所					
なし							
法定代理人の名称及び住所並びにその代表者の氏名（未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）							
<table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="177 1671 630 1832"> 名称 </td> <td data-bbox="630 1671 1410 1832"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1832 630 1912"> (ふりがな) 代表者の氏名 </td> <td data-bbox="630 1832 1410 1912"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1912 630 2078"> 住所 </td> <td data-bbox="630 1912 1410 2078"> (郵便番号) 電話番号 </td> </tr> </tbody> </table>	名称		(ふりがな) 代表者の氏名		住所	(郵便番号) 電話番号	
名称							
(ふりがな) 代表者の氏名							
住所	(郵便番号) 電話番号						

法定代理人の役員の氏名及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他のいかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏名	役職名	住所

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（法人である場合において、当該株主又は出資をしている者があるときに記入すること。）

(ふりがな) 氏名又は名称	住所	保有する株式 の数 又は出資の金 額
<small>かぶしきがいしゃほくしんししよ</small> 株式会社北信支所 <small>ふりがな</small> 〇〇〇〇 <u>(生年月日</u> <u>〇年〇月〇日生)</u>	福島市〇〇 福島市〇〇〇 <u>(本籍：福島市〇〇)</u>	200 株(割合〇%) 150 株(割合〇%)

標準作業書の記載事項

使用済自動車及び解体自動車の保管方法	別紙、標準作業書写しのとおり (注：標準作業書の作成については手引き p17 を参照)
廃油及び廃液の回収、事業所からの流出の防止及び保管の方法	別紙、標準作業書写しのとおり
使用済自動車又は解体自動車の解体の方法（指定回収物品及び鉛蓄電池等の回収の方法を含む。）	別紙、標準作業書写しのとおり
油水分離装置及びためます等の管理の方法（これらを設置する場合に限る。）	別紙、標準作業書写しのとおり
使用済自動車又は解体自動車の解体に伴って生じる廃棄物	別紙、標準作業書写しのとおり

(解体自動車及び指定回収物品を除く。)の処理の方法	
使用済自動車又は解体自動車から分離した部品、材料その他の有用なものの保管の方法	別紙、標準作業書写しのとおり
使用済自動車及び解体自動車の運搬の方法	別紙、標準作業書写しのとおり
解体業の用に供する施設の保守点検の方法	別紙、標準作業書写しのとおり
火災予防上の措置	別紙、標準作業書写しのとおり
△手数料欄	

- 備考 1 △印の欄は、記入しないこと。
- 2 ※印の欄は、更新の場合に記入すること。
- 3 事業所が複数ある場合には、「事業所の名称及び所在地」及び「事業の用に供する施設の概要」の欄を繰り返し設け、事業所ごとに記載すること。
- 4 「事業の用に供する施設の概要」の欄については、当該施設の構造を明らかにする図面等を添付することでも可能とする。
- 5 「役員の氏名及び住所」の欄その他の氏名又は名称及び住所の記載を要する各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。
- 6 「標準作業書の記載事項」の欄については、当該標準作業書の全文の写しを添付することでも可能とする。
- 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(様式第2-1号)

事業所の施設の概要書 (解体施設)

事業所の名称・所在地		株式会社福島市役所 本社 (注：事業所ごとに作成する。)			
処 理 施 設 の 概 要	作業設備の項目	①使用済自動車保管施設 ②解体施設 ③解体自動車保管施設			
	施設の構造及び設備の概要	①工場内一区画、工場全周囲に囲い・門扉、床面：鉄筋コンクリート造り ②整備工場建屋内、床面：鉄筋コンクリート造り ③工場内一区画、工場全周囲に囲い、床面：土間			
	廃油・廃液等の地下浸透防止対策	床面が鉄筋コンクリート、厚さ20cm。一部重機を使用する床面は鉄板敷き 鉄板厚：1.5cm。解体作業場・取外し部品の保管場は、建屋内（鉄筋幸造、スレート屋根、波板トタン壁面）			
	廃油・汚染雨水等の外部流出防止対策	排水溝を設けて油水分離槽を経て排水、油水分離槽：容積2リットル、3槽分離			
要	廃棄物処理基準に基づく生活環境の保全上支障防止対策（飛散・流出、悪臭・騒音・振動、衛生害虫、地下浸透、地下水汚染等の防止対策）	飛散防止：工場全周囲に囲い（コンクリート塀・高さ2m、一部ネットフェンス・高さ1.5m、出入口はアルミ製門扉・高さ1m） 流出防止：工場外及び屋根の降雨は雨水排除溝により排水、場内降雨は排水溝から油水分離槽（容量200L、3槽）を経て排水 悪臭防止：悪臭の発生するものは取り扱わない 騒音・振動・衛生害虫の発生：標準作業書により解体処理機械または施設全体の維持管理をして対応する 地下浸透防止：廃油、廃液を取扱う床面は鉄筋コンクリート造り (厚さ20cm)			
		処理前後の保管施設	保管の対象物	使用済自動車	解体自動車
		保管施設の面積 (m ²)	40m ²	30m ²	
		保管量の上限 (m ³)	20台(m ³)	30台(m ³)	
		保管の高さ (m)	1m、(1段積み)	3m、(2段積み)	
		設備の概要 (囲い、門扉の構造等)	工場内一区画、工場全周囲に囲い、床面：鉄筋コンクリート、厚さ20cm土間	工場内一区画、工場全周囲に囲い、床面：土間	
取 外 部 品 ・ 廃 棄 物 の 保 管	保管の対象物	リユース部品	タイヤ	バッテリー	廃エンジン類
	保管施設の面積 (m ²)	20	3	1	9
	保管量の上限 (m ³)	20	6	1	4.5
	保管の高さ (m)	適用外	2	1	1.5
	設備の概要 (囲い、門扉の構造等)	専用倉庫にラックを使用して保管	保管ヤード、3面コンクリートブロック造り	鋼鉄製コンテナ	工場内一区画 屋根なし、床面 コンクリート

土地の概要	字名	地番	面積	地目	土地所有者の氏名及び住所	使用権
	〇〇	2番地	25	宅地	株式会社〇〇不動産	借用
	〇〇	3番地	300	宅地	株式会社福島市役所	自己所有
	〇〇	6番地	100	雑種地	△△△	借用

(記入例様式第3号)

(第1面)

事業計画書及び収支見積書

申請日と同じにしてください。

令和〇年〇〇月〇〇日現在作成

1-1 事業の全体計画 (業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種 (乗用車、大型車) を含む。)

フロン類回収業者					
↓ 引取					
使用済自動車の運搬					
↓					
使用済自動車の保管 (産廃収運業委託)					
↓					
解体 エアバック類の回収 → 保管 → 運搬 (自己) →					
↓ → メーカー引取所 (名称〇〇・所在地〇〇)					
↓ 廃油・廃液の回収 → 保管 → 運搬 (産廃収運業委託: 名称・所在地)					
↓ → 処理の委託 (処理業者〇〇・所在地〇〇)					
↓ タイヤ・バッテリー → 保管 → 運搬 (指定広域収運業: 名称・所在地)					
↓ → 指定広域処理業者 (名称〇〇・所在地〇〇)					
↓ リユース部品類 → 保管 → 運搬 (自己) →					
↓ → 自己販売、インターネット市場へ委託販売 (名称〇・所在地〇)					
↓					
解体自動車の保管					
↓					
解体自動車の運搬 (自己運搬)					
↓ 引渡し					
破碎業者					
(フロー略図を添付)					
勤務時間	9:00~ 18:00	従業員数	30人	休業日	毎週日曜日

1-2 解体業: 使用済自動車 (破碎業: 解体事業者) 等の受入れ実績及び計画

年 度	〇年度実績 (3年前)	〇年度実績 (2年前)	〇年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
受入台数	400台	600台	1,000台	1,000台
主な受入先	〇〇自動車 〇〇整備工場 〇〇中古車商会	〇〇自動車 〇〇整備工場 〇〇中古車商会	〇〇自動車 〇〇整備工場 〇〇中古車商会	〇〇自動車 〇〇整備工場 〇〇中古車商会

1-3 解体 (破碎) 実績

年 度	〇年度実績 (3年前)	〇年度実績 (2年前)	〇年度実績 (1年前)
年間処理実績	200台	600台	1,000台
年間稼働日数	200日	200日	200日
平均処理実績	1台/日	3台/日	5台/日

(第2面)

1-4 解体(破砕)能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
5台/日	200日	1,000台

1-5 保管の状況

解体業：使用済自動車 破砕業：解体自動車		解体業：解体自動車 破砕業：ASRまたは処理物	
保管場の上限	20台(m ³)	保管量の上限	30台(m ³)
現在の保管量	10台(m ³)	現在の保管量	15台(m ³)

申請日と同日にしてください。

1-6 年間収支見積書

令和〇年〇〇月〇〇日現在作成

項目 (千円)		前年度(〇〇年) (決算月(3月))		今後の見込み (年間)	
		年度	(1台当)	年度	(1台当)
		29年度		30年度	
売上高(全体)	ア(総売上収入)	20,000	20	30,000	30
売上原価	イ(購入費等)	3,000	3	1,000	1
経費	ウ	7,000	7	9,000	9
	エ うち廃棄物 処理委託費	4,000	4	7,000	7
営業利益	オ=ア-イ-ウ	10,000	10	20,000	20
営業外利益	カ	2,000	2	2,000	2
経常利益	キ=オ+カ	12,000	12	18,000	18
解体自動車等 年間引取台数		1,000		1,000	
解体自動車等 年間処理台数		1,000		1,000	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額(年度末残高)(千円)	500	1,000

(注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

様式第七（法律様式第七関係）

窓口で記入内容の確認を受けた後に記入してください。

解体業変更届出書

令和〇年〇〇月〇〇日

福島市長

押印省略可能です。

住所の変更を届け出る場合は、新住所を記入してください。

(郵便番号) 960-8601

住所 福島県福島市五老内町3-1

代表者の変更を届け出る場合は、新代表者の氏名を記入してください。

氏名 株式会社福島市役所

代表取締役 福島 太郎

(法人にあっては、名称及び代表者

お手元の許可証を見ながら記入してください。記入方法がよく分からない場合は記入せず、許可証を窓口にお持ちください。

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

△△〇〇年〇月〇日付け第21243009999号で許可を受けた以下の事項について変更したので、使用済自動車の再資源化等に関する法律第63条第1項の規定により、必要な書類を添えて届け出ます。

	新	旧
変更の内容	<p>例1 福島県福島市五老内町3-1</p> <p>例2 代表取締役 福島 太郎</p> <p>例3 取締役 福島三郎 取締役 福島五郎</p> <p>例4 事業所 ①福島営業所 ②鎌田営業所(福島市鎌田字〇〇)</p>	<p>例1 福島県福島市五老内町1-25</p> <p>例2 代表取締役 福島 次郎</p> <p>例3 取締役 福島三郎 取締役 福島四郎</p> <p>例4 事業所 ①福島営業所 ②本内営業所(福島市本内字〇〇)</p>
変更の理由	<p>例1 令和〇年〇月〇日付けで本社住所を変更</p> <p>例2 令和〇年〇月〇日付けで代表取締役を変更</p> <p>例3 令和〇年〇月〇日付けで取締役「福島四郎」が退任し、取締役「福島五郎」が就任</p> <p>例4 令和〇年〇月〇日付けで「本内営業所」を廃止し、「鎌田営業所」を新設</p>	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。